

词语的岁时记 1月の季语

1月の別名称为睦月(mutsuki),就词源来说,据说有迎新年、全体亲属聚集一堂开宴会的和睦月(mutsubitsuki)之意。和睦有友好相处,相互亲近的意思,进行只有正月才能办的仪式,品尝正月菜肴,盛大庆祝新年。

若说只有正月才能进行的仪式,就是“新年参拜”。一过了年之后初次参拜神社·寺院,是祝愿一年的太平无事和平安的仪式。进行参拜,购买护身符以及避邪箭(hamaya)等,在匾额(ema)上写愿望或者目标,还求个签,祝愿新的一年是美好的一年。

然后,提起代表性的正月烹调,就是“年节菜”。原来在季节转变期、传统节日(节气(sechi))供神的食物为“年节菜”,毕竟正月是最重要的传统节日,因此正月菜肴就称作“年节菜”了。满怀五谷丰收、家族的安全和健康、子孙兴旺的愿望,加入大量山珍海味。

ことばの歳時記 ～1月の季語～

1月の別名を睦月(むつき)と呼び、語源的には、新年を迎えて親族一同集って宴をする睦び月(むつびつき)の意があるそうです。睦むとは、仲よくする、親しみ合うといった意味があり、正月ならではの行事を行ったり、正月料理を食べて、新しい年を盛大に祝います。

正月ならではの行事といえば、「初詣」。年が明けてから初めて神社・寺院に参拝し、一年の無事と平安を祈る行事です。参拝して、お守りや破魔矢(はまや)などを買ったり、絵馬(えま)に願い事や目標を書いたり、おみくじを引いたりして、一年がよい年であるように祈ります。

そして正月料理の代表といえば、「おせち料理」。もともと季節の変わり目、節句(節(せち))に、神様にお供えした食べ物が「お節料理」で、やがて正月がもっとも重要な節句であることから、正月料理のことを「おせち料理」と呼ぶようになりました。五穀豊穰、家族の安全と健康、子孫繁栄の祈りを込めて、海の幸や山の幸がふんだんに盛り込まれています。